

付属資料

1 成果指標の解説

施策	成果指標名	説明
施策 1	「菊池基準」の登録戸数	菊池市独自の農産物栽培基準を満たし、市が認定した登録者数の増加を図る
	新規販路先件数（累計）	菊池市農産物を取り扱う市内外の店舗件数（インショップなど）
	インターネットショップ販売額	平成26年10月20日にオープンしたネットショップ「菊池まるごと市場」における本市農産物及び加工食品等の販売額
	インターネットショップアクセス数	首都圏、関西圏など都市圏を主としたインターネットアクセス数
	6次産業化に取り組む農業経営体数	現在6次産業化に取り組まれている農業経営体数を3年後までに倍増を目指す
施策 2	新規就農者数	農業の担い手を育成するため、セミナー等の機会等を提供し、新規就農者の増を図る
	認定農業者計画数（累計）	法に基づく市の基本構想の目標を目指し、自ら作成した5年間の農業経営改善計画を市から認定された経営体（個人又は法人）。農業従事者の高齢化や後継者不足により減少傾向にあるため高い目標設定はできない
	圃場整備計画の達成率	農業の基盤整備をすることで経営の安定を図る。整備済の農地面積÷基盤整備計画の農地面積
施策 3	観光客総入込数	県観光統計調査の日帰り客及び宿泊客数
	菊池溪谷入谷者数	清掃協力金納付該当者及び非該当者。12月から3月については見込数
	グリーンツーリズム宿泊者数	きくちふるさと水源交流館に宿泊される1年間の数
施策 4	中心市街地の空き店舗の新規開業件数	空き店舗を活用して、新規に開業した店舗数
	市内共通商品券の加盟店舗数	市内共通商品券「めぐるん券」を取り扱う登録店舗数
施策 5	企業立地件数（累計）	工業団地等に誘致・立地した新規企業数
	新規雇用者数（累計）	誘致企業における新規雇用した人数
施策 6	ICT機器を活用した授業の割合 ※H26基準	ICT機器使用授業時数／実施授業時数（市独自調査）調査期間：H26.6.23～H26.7.18（約1ヶ月間）
	1ヶ月に貸し出す図書の冊数（1人当たり）	学校図書館の現状に関する調査（B調査）の結果（国調査）
	全国標準学力検査（NRT）	全国標準学力検査の結果は全国平均50.0。市の数値目標53.0を目指す
	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合（心のアンケート結果）	熊本県公立学校「心のアンケート」調査結果
施策 7	菊池遺産散策コース数	菊池遺産を散策するコースの累計
	菊池の歴史学び塾（出前講座）	菊池一族の歴史など、郷土の歴史を誰もが分かりやすく学び郷土の誇りを再興する取組み。市民に向けた講座の回数を予測した
	菊池の歴史探訪（出前講座）	出前講座メニューのうち、「菊池の歴史探訪」の開催回数。史跡国指定文化財等への取組みの一環で、市民に周知の増加分を予測した

施策	成果指標名	説明
施策 8	公立公民館の利用者数	菊池市（中央・七城・旭志・泗水）公民館4館の延べ利用者数（図書室含む）
	図書館（室）の貸出冊数	泗水図書館及び菊池市（中央・七城・旭志）公民館図書室の貸出冊数。庁舎等整備基本構想・基本計画の図書館規模の算定部分から本市における必要蔵書数を基に予測した
	出前講座参加者数	出前講座に参加される一般市民の延べ人数。 直近5年の平均増加率（約6%増）より算出した
施策 9	社会体育施設の利用者数	菊池市総合体育館、市立泗水体育館、菊池公園多目的グラウンド、七城総合グラウンドなど（73施設）の社会体育施設の利用者数。毎年6500人（1%）程度の増加を見込む
	総合型地域スポーツクラブ会員数	ジュニア新体操、幼児サッカー、エアロビクス、弓道など（11種目）のスポーツクラブの加入者数。毎年20人の会員増加を見込む
施策 10	市民提案型協働事業の採択数	年間に提案される市民提案型協働事業の数
	地域づくり補助金交付件数	年間に交付する地域づくり推進補助金の件数
施策 11	姉妹・友好都市との相互交流者数	国内3市町村及び国外3都市の姉妹・友好都市を行政又は市民が訪問したり、反対に相手が菊池市を訪問した交流人数
	東京菊池会の交流者数	年に1回開催する東京菊池会総会の参加者数
	ふるさと納税寄附件数	年間のふるさと納税寄附件数
施策 12	病児・病後児施設利用者数	病児・病後児保育室「カンガルーのポケット」利用延べ件数
	ファミリー・サポートセンター利用件数	菊池市子育てサポートセンター利用延べ件数
施策 13	就労系サービスの利用者数	障がい者が自立する具体的な支援として3つの就労支援がある。 就労移行支援+就労継続支援A型+就労継続支援B型の利用者数
施策 14	住民主体の介護予防教室実施地区数（累計）	住民主体の介護予防教室などの通いの場を増やすことにより、高齢者の心身機能の改善や生きがい、社会参加を促す活動を実施する地区数
	認知症サポーター数（累計）	認知症への理解を深め、地域での見守り体制を強化するためのサポーター数
施策 15	就労自立支援による新規就労者数	生活困窮者及び生活保護受給者に対する就労支援による新規就労者数
施策 16	地域サロン立ち上げ地区数（累計）	高齢者をはじめ地域住民が生きがいづくりや仲間づくりを行う地域サロンを新たに立ち上げられた地区数
	支え合い活動推進モデル地区数（累計）	地区社協のない七城・旭志・泗水地域（109区）において、小地域福祉活動を推進するモデル地区数

1 成果指標の解説

施策	成果指標名	説明
施策 17	特定健診の受診率	(特定健診受診者÷特定健診対象者×100) 数字は、年度内の対象者及び受診者となる
	21時までに就寝する3歳児の割合	生活リズムの状況を確認する指標として就寝時間があり、健診時のお尋ね票の項目の回答にて把握する。(該当者数÷3歳児健診受診者数×100)
	健康づくりネットワーク参加団体数	健康づくりに取り組む団体及びグループが、連携し活動できるようにネットワークで繋ぐ団体数。年度末のネットワーク参加団体の数
施策 18	農地の利用権設定面積	農地の有効利用を図るため、農地の保全活動を推進し、農地中間管理事業を活用した農地の貸借を設定した面積
	市管理林道舗装総延長	市が管理する林道を舗装することで、森林の管理、保全活動を推進する
施策 19	市民参加型清掃活動の参加者数	H25 みんなの川と海づくりデー参加者数150人と城山の日参加者数345人より算出。H29は市民参加型の清掃活動を1回増やすことから参加者の増加を見込む
	雨水浸透枡、雨水タンクの設置数(累計)	雨水の流出抑制と地下水涵養に寄与する浸透枡や雨水タンクの設置を推進する。年間13基見込む
施策 20	世帯あたりのごみ排出量	1世帯あたりのごみの排出量は、可燃ごみ・不燃ごみ等許可業者の搬入量を除くごみの量。H29ごみ量予測9,389t、19,160世帯として算出
施策 21	市内交通事故発生件数	交通安全パトロールやルールへの遵守を啓発することで、菊池市管内で発生する交通事故件数の減少を見込む
	市内刑法犯罪数	防犯協会との連携や防犯パトロールによる啓発で、菊池市管内で発生する刑法犯罪件数の減少を見込む
	消費者被害の未然防止及び相談件数	消費者トラブルの未然防止を目的に設置した消費生活センターで受け付ける新規の相談件数。啓発活動、周知の充実により相談者増を見込む
施策 22	自主防災組織率	地域住民による自主的な防災活動を行う組織率。(自主防災組織を設立した区の世帯数÷市内の全世帯数×100)
	安心メール登録者数	菊池市の火災防災防犯等に関する緊急連絡を行う登録制メールの登録者数
施策 23	市外からの移住世帯数(累計)	空き家・空き地情報活用制度や移住促進施策により市外から移住された世帯の年度末累計
施策 24	市道整備率(累計)	改良済(W=4.0以上)の道路延長を市道全延長で割ったもの。改良済道路延長÷市道実延長×100
施策 25	べんりカー利用者数	年間のべんりカー利用者数(市街地)
	あいのりタクシー利用人数	年間の龍門、水源、泗水西部、泗水東部、旭志東部地域のあいのりタクシー利用者数

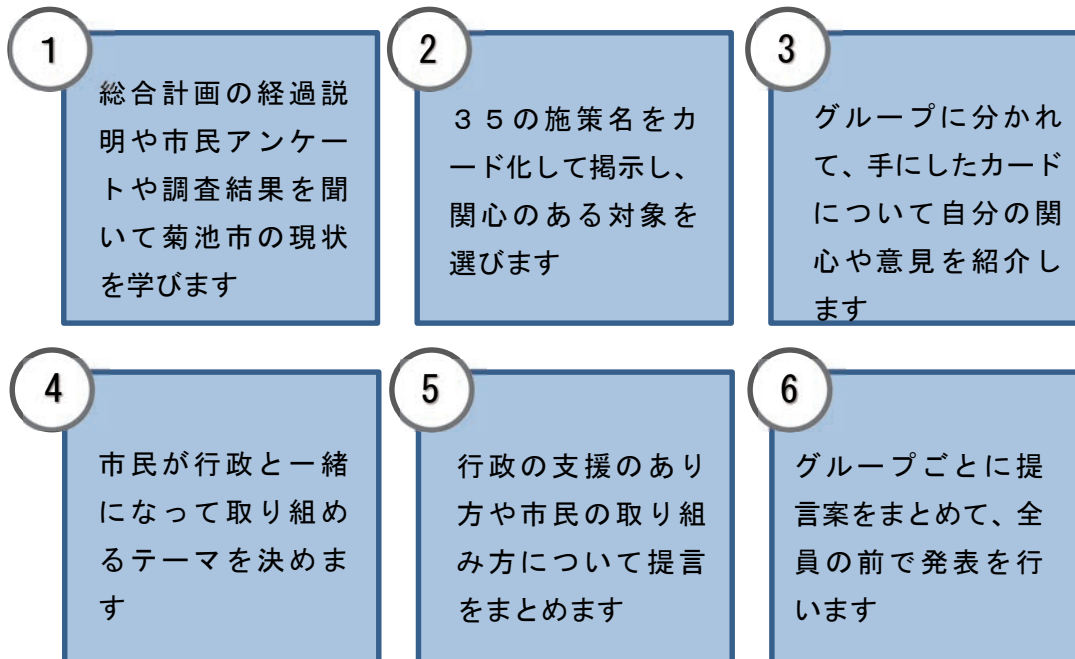
施策	成果指標名	説明
施策 26	市営住宅等長寿命化の実施戸数 (累計)	369戸ある市営住宅のうち、市営住宅長寿命化計画に基づき平成29年度までに全面リフォームする戸数
施策 27	中心市街地の緑化箇所数	植樹可能な空き地に対する植樹計画に基づく緑化箇所数
	中心市街地の世帯数	上町・中町・下町・切明・迎町・中央通・横町・立町・正院町・栄町・西正観寺・東正観寺の世帯数。現在減少傾向になるため目標は現状維持とする
施策 28	公園長寿命化計画達成率(累計)	公園長寿命化計画における整備実績の累計 (実施箇所数÷計画箇所数×100)
施策 29	水道普及率(累計)	市の人口に対して水道を使用している人の割合(水道給水人口÷人口×100)
	汚水処理普及率(累計)	市の人口に対して汚水処理が可能となった人の割合(汚水処理普及人口÷人口×100)
施策 30	市民と意見交換する「市長と語る会」等の開催数	旧市町村4ヶ所、市内高校生、市内への移住者、子育て世代などを対象に開催した「市民と語る会」などの開催数
	ホームページのページビュー数	市のホームページのトップページにアクセスされた数
施策 31	審議会等への女性登用率	審議会等のうち女性委員数÷地方自治法に基づく審議会委員数×100
施策 32	地域養成リーダー数(累計)	まちづくり推進委員研修受講者の累計
	人権学習会等の参加者数	市同研大会・人権フェスティバル・各部会主催の学習会等参加者の1年間の合計
施策 33	職員数	毎年4月1日現在の全職員数
施策 34	経常物件費の削減率	基準年度を100とした場合の目標値(目標年度決算数値÷基準年度決算数値×100)
施策 35	市税収納率(現年度)	県下14市の平均値を目指す。H26目標値+(H23~25収納率対前年比の平均÷2×3ヵ年)※参照 H26年8~10月対月比の平均
	市税収納率(過年度)	県下14市の平均値を目指す。H26目標値+(H23~25収納率対前年比の平均÷2×3ヵ年)※参照 H26年8~10月対月比の平均

2 市民ワークショップでの意見のまとめ

1. 市民ワークショップの概要

総合計画策定にむけて市民の声を反映させていくためにワークショップを開催しました。このワークショップは少人数グループ単位で自由な雰囲気ですぐ語り合う場で、総合計画の主要施策について市民目線の意見をいただくと同時に、市民協働で取り組むべきテーマについて提案をまとめていただきました。

ワークショップの手順



ワークショップの様子

○ 開催地区と参加者数

泗水中校区	参加者 32名
七城中校区	参加者 36名
菊池南中校区	参加者 33名
菊池北中校区	参加者 34名
旭志中校区	参加者 24名

○ 開催日時

平成26年6月14日～22日

2. 各開催地区での提案結果の一覧

ワークショップは泗水、七城、菊池南、菊池北、旭志の中学校区単位で開催されました。提案したい市民協働のテーマはグループ単位でまとめられ、次のように整理されます。

地区	市民協働テーマ	提案の概要	市民協働のキーワード	
泗水	菊池ブランドと食育の融合	安心安全な地元の農産物の良さを学校の食育を通じて広める。地域学習と菊池ブランド力の向上の相乗効果をねらう。	農産物(菊池ブランド)	社会教育・地域学習
	若者の社会参加	泗水では人口が伸びやすい特徴があり、若者が定住し社会参加する機会や条件をそろえていく。その効果を菊池全体にひろげていく。	交流・互助の仕組み	集落運営
	交通手段があれば安心安全	地域づくりに大切な「市民交流」は交通手段がなければ成り立たない。仕事・教育・福祉・健康・こどもの安心安全の解決の基盤になる交通ネットワークを充実。	交通手段	交流・互助の仕組み
	若者定住促進	現在の移住者が将来家を建てて定住してもらえるように、子育てしやすく近隣に溶け込みやすい環境をつくる。	子育て環境	
	ボランティア体制見直し	地区のボランティア体制に限界あり。多くの人が空いた時間をボランティアに当てられる仕組みづくりをする。	交流・互助の仕組み	集落運営
七城	里山保全と社会教育	豊かな田園風景を次世代につないでいくために、農地や里山のお世話を社会教育活動として取り組む。まずは花いっぱい活動で生きがい創出、さらに里山保全の組織づくり。	里山農地保全	社会教育・地域学習
	菊池ブランドの確立	菊池の地域資源を結びつけるために、JA、旅館組合、商工会など各種団体の横の連携、事務局レベルの交流をおこなう。	農産物(菊池ブランド)	連絡・交流体制・仕組み
	明るい休耕田と竹林	多くの人が所有する竹山などの林地について将来のありかたについて不安をもっている。そこで農地や竹林などを管理する仕組みづくりを行う	里山農地保全	管理体制・仕組み
	支所にまちづくり担当者	地区単位なら住民でできること、やりたいことはたくさんある。支所に地域担当者を置いて相談できる窓口をつくる。	管理体制・仕組み	
	ふるさとの食と暮らしの再発見	当たり前と思われがちな菊池の環境や食の豊かさを全国に伝わる形でアピールしていく。身の回りのすばらしい魅力を再発見する取り組みを行うべき。	社会教育・地域学習	農産物(菊池ブランド)
	友達ネットワーク	子育てなど、ロコミで助かることは多い。友達情報網(共助)をつくる機会を行政がコーディネートしてくれれば、自分の得意分野で貢献できそう。	交流・互助の仕組み	生きがい創出

2 市民ワークショップでの意見のまとめ

地区	市民協働テーマ	提案の概要	市民協働のキーワード	
菊池南	こどものまち育て	子育てを家族だけでなく地域で育てる目標をたてて、こどもの居場所づくりや畑をセットにした住居提供など、菊池で子育てするメリットを増やす。	子育て環境	近隣交流
	「菊池版ダッシュ村構想」	幼児期も大事だが、小学高学年から中学生の「大人と学ぶ遊び」も大事である。廃校になった施設を利用して「菊池版ダッシュ村構想」を協働で進める。	社会教育・地域学習	子育て環境
	地域支援企業の育成	子育て支援等の地域活動支援に貢献してくれる企業に認定マークを作って表彰・支援を行う。地域に密着した企業を応援すると同時に民間の力で福祉事業を補う流れをつくる。	交流・互助の仕組み	
	菊池の学校給食でブランド推進	菊池の生産者の顔の見える農作物を学校給食で徹底活用。安全で美味しい食の取り組みを情報発信して、農の菊池ブランドの価値を高める。	社会教育・地域学習	農産物(菊池ブランド)
	元気なおじいちゃん計画	外出が減りがちな高齢者を積極的に社会活動に誘い、できる範囲で地域貢献活動で生きがいを発見していただく。	生きがい創出	交流・互助の仕組み
菊池北	伝統と知恵の継承・高齢者とこどもをつなぐ	高齢者とこどもが交流できる機会を増やし、伝統や経験の知恵を後世に伝える。おせっかいをやいてくれる地域のつながりを大事にして日常的な世代間交流を促す。	生きがい創出	社会教育・地域学習
	誰でも使いやすい「べんりカー」へ	市内循環バス「べんりカー」やスクールバスの有効利用を考える。ルート、便数、使用方法を市民協働で実験を行い、公平で効率的な「公共の足」のありかたを考える。	交通手段	
	図書館で拠点づくり	菊池の歴史や情報をもっと市民に共有されるように、図書館のありかたを見直すべき。菊池の絵本を作るなど「菊池」を知る催しを図書館を拠点に増やしていく。	社会教育・地域学習	
	おせっかいおばちゃんが似合う町	地域の子供の顔がわかって、おせっかいをやいてくれる大人がいる町をめざして、お互いに協力しあえる体制ができていく町にしていく	近隣交流	交流・互助の仕組み
	山の交通・山の暮らし向上	山の暮らしの維持は菊池資源の維持でもある。山道の奥に住民が運営する拠点を作り、森の魅力を生かした交流をする。交通手段が維持されれば山の暮らしもなんとかなる。	集落運営	交通手段
旭志	集落あまやどり整備	集落ごとに小さな集合場所「あまやどり」をつくる。そこではタクシーの相乗りの待ち合わせやこどもの集合場所、村人どうしが声かけのタイミングをつかめる場所となる。	交流・互助の仕組み	
	集落・グループ・女性の意見交換会	集落に課題があることはわかっているが、日頃の交流がないと大事なことを話し合う機会がない。いろんな世代や女性が参加しやすい話し合いの場をつくる。	近隣交流	
	こども市民運動会	近所のこどもの顔を見る機会が少ないので、昔あった地区の運動会を復活。種目競技ではなくこどもと大人がそろって参加できるプログラムがのぞましい。	近隣交流	子育て環境
	ゴミ投棄ゼロ作戦	地区単位でゴミ捨て防止活動や清掃活動を行う。集落の小さな活動を市全体に拡げて、環境の良さを基盤にした菊池ブランドの信頼性を市民一人ひとりが支える。	里山農地保全	農産物(菊池ブランド)

3. 提案された市民協働のテーマの全体的な傾向

各地区からの提案は共通する普遍的なキーワードを相互に含んでいますので、総合計画において提案されたアイデアが施策で反映されるように、より包括的な言葉でまとめていく必要があります。そこで以下のようなカテゴリで整理を行いました。

社会教育・地域学習

社会教育や地域学習が現実の産業や社会の課題に直接向き合うようにする。

児童の育成プログラムを考える上で伝統や昔の行事の復活の良さを見直す。

交通手段

郊外や中山間地の生活に公共交通は欠かせなくなるので、現実的な方法を検討する。

近隣交流

近隣のおつきあいの中でも、世代間交流や子育てに着目して出会いの場を作る。

農産物 (菊池ブランド)

学校給食の安心安全と農産物の価値向上・情報発信をリンクさせる。

土地や自然環境の向上や地域資源の再発見を通じて菊池製品の価値を間接的に高めていく。

生きがい創出

高齢者の社会参加が健康長寿やいきがいを創出すると同時に地域課題解決につながる役割を果たす。

子育て環境

近隣の自治体に比べて子育て環境を有利にすることが定住促進の施策として有効である。

昔あった子供のための行事や環境を復活させていく。

集落運営

集落運営を支えてきた仕組みを見直して、継続可能な体制や参加の動機付けを研究する。

郊外や中山間地の生活に公共交通は欠かせなくなるので、現実的な方法を検討する。

互助の仕組み

これまで機能してきた地域互助活動を現在のニーズや能力に見合った仕組みに作り変える、あるいは改善できる支援体制や場づくりを新たに導入する。

里山農地保全

菊池の財産といえる里山を維持していくためには、所有者だけの努力では難しいので抜本的な対策をとる。

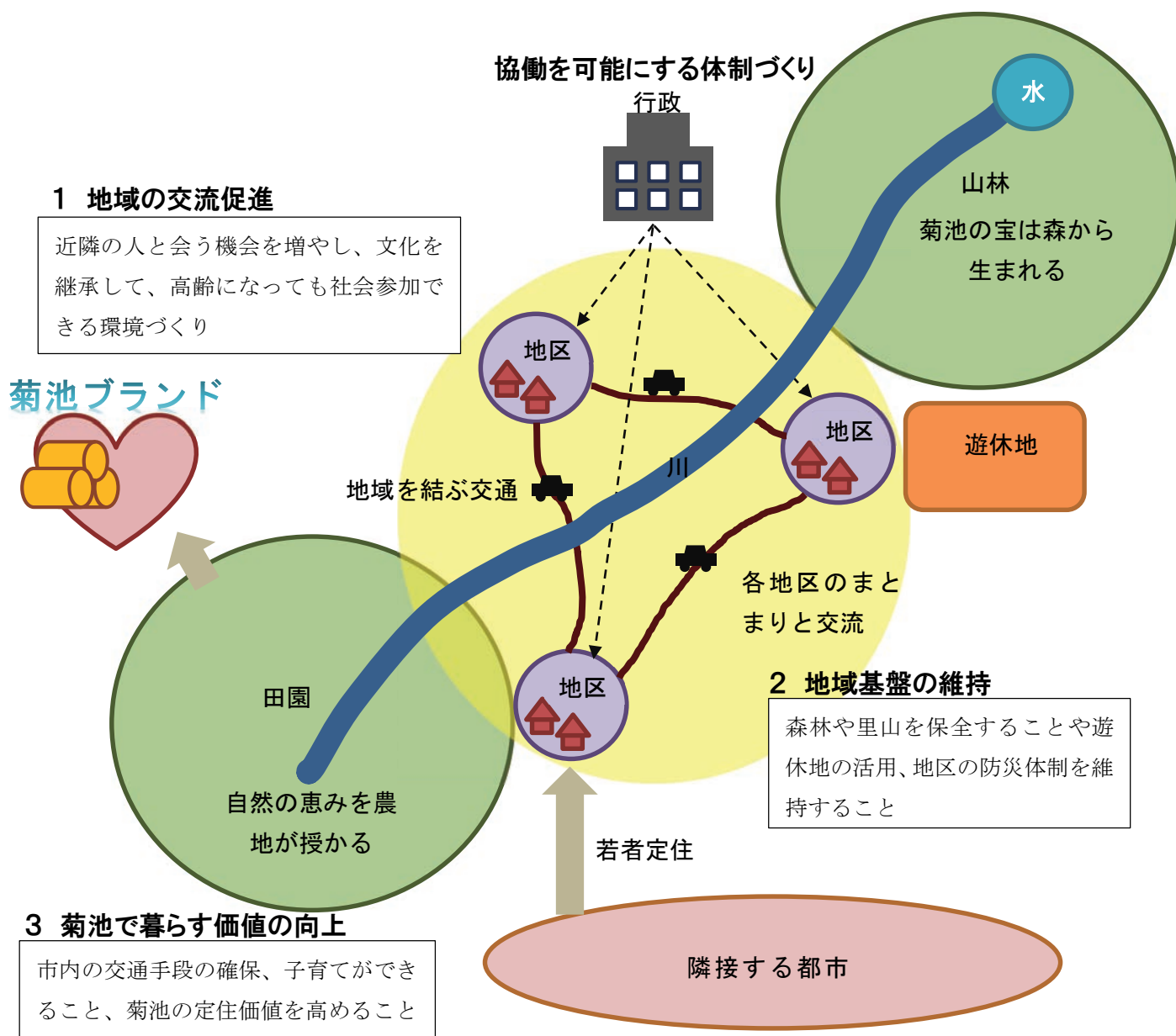
交流の仕組み

地域交流や社会活動の中で高齢者の潜在力を生かしていくためには、声をかけたりコーディネートする役目が必要である。

2 市民ワークショップでの意見のまとめ

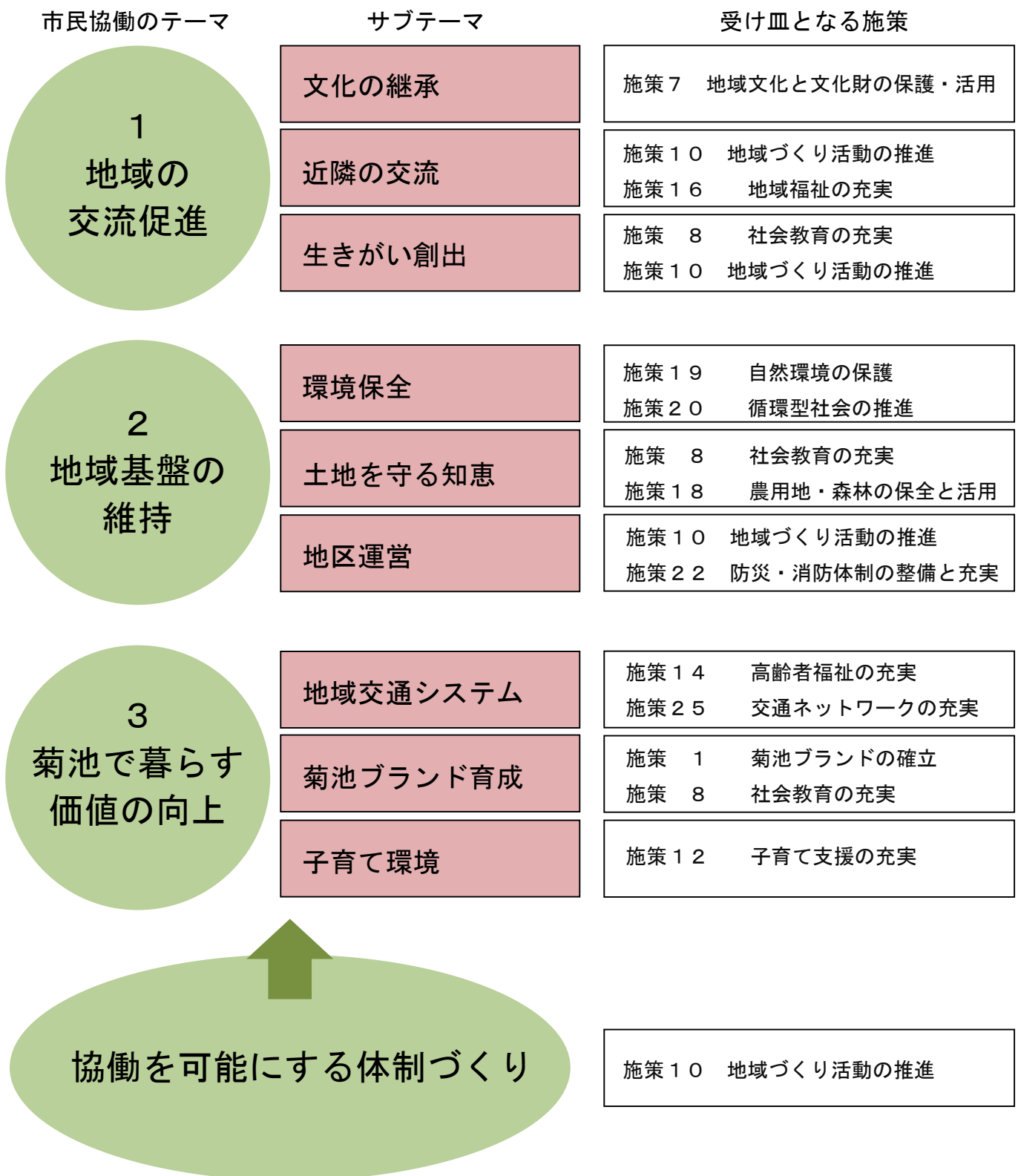
4. ワークショップの成果を総合計画に活かすために

ワークショップでの全体的な提案の傾向をふまえて、市民協働のテーマの対象を下記のように図示しました。



3.市民協働のテーマと施策との関係

市民協働のテーマは下記のようにサブテーマに分かれます。それぞれのサブテーマを推進する施策を次のように整理しています。



3 審議会委員名簿

	所属	氏名	平成25 年度委員	平成26 年度委員
会長	熊本大学 教授	上野 眞也	○	○
	菊池区長会 会長	佐藤 紘一 木下 純一	○	○
	七城区長会 会長	田代 武則 志水 茂	○	○
	旭志区長会 会長	安武 昭二 中村 貞信	○	○
	泗水区長会 会長	古田 耕正 泉田 寛靖	○	○
	菊池地域農業協同組合 理事	古庄 廣美 田中 弘文	○	○
	菊池市商工会 会長	笠 愛一郎	○	○
副会長	菊池観光協会 代表理事	服部 英治	○	○
	菊池市 PTA 連絡協議会 会長	池邊 邦敏 山下 高範	○	○
	菊池市社会福祉協議会 会長	隈田 亮平	○	○
	菊池地域振興局総務振興課 課長	沖 圭一郎	○	
	熊本県 県北広域本部 振興課長	倉光 麻里子		○
	一般公募	堤 ツネヨ	○	○
	一般公募	坂本 栄子	○	○
	一般公募	木場 博文	○	○
	一般公募	中原 淳一	○	○
	一般公募	岩根 正俊	○	○
	一般公募	稲葉 五十三	○	○
	一般公募	笹山 健吾	○	○
	一般公募	今田 不二夫	○	○
	その他市長が適当と認めた者	松浦 眞弓	○	○
	その他市長が適当と認めた者	田代 貴美子	○	○

年度	開催日	策定作業名
平成25年	9月24日	第1回専門部会
	10月	市民アンケートの実施
	11月8日	第2回専門部会
	11月28日	第1回策定審議会
	12月20日	第3回専門部会
	12月26日	第1回検討委員会
平成26年	1月21日	第4回専門部会
	1月24日	第2回検討委員会
	2月25日	第2回策定審議会（諮問）
	4月22日	第5回専門部会
	6月14日	市民ワークショップ開催【泗水公民館】
	6月15日	市民ワークショップ開催【七城公民館】
	6月21日	市民ワークショップ開催【菊池市文化会館】
	6月22日	市民ワークショップ開催【旭志公民館】
	7月25日	第6回専門部会
	8月7日	第3回検討委員会
	8月29日	第3回策定審議会
	9月19日	第7回専門部会
	9月30日	第4回検討委員会
	10月20日	第4回策定審議会
	10月21日	議会月例会で進捗状況の報告
	10月27日	第8回専門部会
	11月4日	第5回検討委員会
	11月13日	第5回策定審議会
	11月20日	議会審議会でパブリックコメント案の説明
	11月26日 ～12月25日	総合計画案についてパブリックコメントの実施
平成27年	1月9日	第6回検討委員会
	1月21日	議会月例会でパブリックコメント結果の報告
	1月29日	第6回策定審議会（答申）
	2月24日	3月議会に上程

5 答申書

菊総策審第14号
平成27年1月29日

菊池市長 江頭 実 様

菊池市総合計画策定審議会
会長 上野 眞也

第2次菊池市総合計画の策定について（答申）

平成26年2月25日付け菊企第569号にて諮問のありました「第2次菊池市総合計画の策定」については、本審議会において社会情勢の変化とともに、これまでの各各種施策に対する市民の意見等を踏まえ、慎重に審議を重ねた結果、別添の「第2次菊池市総合計画（案）」をもって答申といたします。

なお、今後の市政運営に当たっては、以下の事項について特段の配慮をされるとともに、住んで良かったと実感できるまちづくりに向けて、行政が市民と一体となって取り組まれることを期待します。

記

1 前期基本計画の策定にあたっては、市民と行政がそれぞれの立場と特性を尊重しながら、自己の役割と果たすべき責務を認識し、協力し活動する「市民協働」を掲げ、市民と一体となったまちづくりを推進されたい。また、行政としても市民協働について学ぶ機会や地域コミュニティに積極的に関わり、その活動を理解しながらまちづくりに努められたい。

2 施策の指標については、毎年度の達成状況を把握し点検するとともに成果を評価、検証すること。また、その結果については市民へ公表し、施策の実現に向けた業務遂行に努められたい。

3 本計画に定める将来像の実現を目指すため、行財政改革の着実な遂行とともに、実効性が高くかつ効率的な実施計画の策定に取り組まれたい。